

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
 プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	VelP
診療科名	泌尿器科
診療科責任者名	太田 智則
適応がん種	精巣がん
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ur-1
登録日・更新日	2007年10月1日
削除日	
出典	J Clin Oncol. 1997; 15(4): 1427-31. J Clin Oncol 1998; 16(7): 2500-4.
入力者	安岡 由佳

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート			投与時間	施行日
No.1	エクザール	10mg	0.11mg/kg	IV	DIV	IVHポート 側管 その他()	1~2分程度	Day1~2
	生理食塩液	20mL						
No.2	注射用イホマイド	1g	1.2g/m ²	IV	DIV	IVHポート 側管 その他()	1~2分程度	Day1~5
	生理食塩液	100mL						
No.3	シスプラチン注	10,50mg	20mg/m ²	IV	DIV	IVHポート 側管 その他()	2.5時間	Day1~5
	生理食塩液	500mL						

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	短縮可能(日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<ul style="list-style-type: none"> 胸部にRadiationの既往があればエクザール、イホマイドを25%減量 Cre 2.0以上はイホマイドを25%減量 WBC減少による発熱、またはPlt減少に対し輸血の必要なときはエクザール、イホマイドを25%減量 WBC 2500/mm³以下のとき、またはPlt 10万/mm³以下のときDay5のイホマイドを中止し、CDDPのみ投与
前投薬	Day1~5: ラモセトロン 0.1mg PO 分1、デキサメタゾン 8mg IV 分1
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 4コース繰り返す イホマイド1日量の20%程度量のメスナをイホマイド投与後8時間毎に投与 輸液3L以上 輸液1Lあたり7%メイロン40mLを混注 頻回に排尿させ、膀胱内に尿をためすぎないこと 尿検査は抗がん剤投与中は毎日行う 尿沈渣RBC 10以上/hpfのときイホマイドは中止し、改善するまでメスナ投与 脳症でイホスファミド中止 治療の遅延は避けること Day22に重篤な骨髄抑制があればCBCを毎日チェック

記入者	太田 智則
確認者	安室 修